

学習指導要領と教科書を セクシュアル・マイノリティの視点で考える

3 / 8 2019 (金)

18:00~20:00 開場 17:40
弁護士会館5階502号室

2020年度から実施される新学習指導要領は、セクシュアル・マイノリティ教育について言及していません。教育は、子ども達のパーソナリティに大きな影響を及ぼします。そのような重要な意味を持つ教育があるべき姿とはどのようなもののでしょうか？新学習指導要領の下で、どのようなセクシュアル・マイノリティ教育ができるのか、すべきなのか、その際に留意すべきポイントはどこかについて、講師をお招きした上で、皆様と一緒に考えたいと思います。



渡辺 大輔氏

埼玉大学基盤教育研究センター准教授

埼玉大学基盤教育研究センター准教授。専門はセクシュアリティ教育。主な著書に、『性の多様性ってなんだろう？（中学生の質問箱）』（2018年、平凡社）、『いろいろな性、いろいろな生きかた』（監修、全3巻、ポプラ社）ほか。



遠藤 まめた氏

「1987年埼玉県生まれ。横浜在住。トランスジェンダーとしての自らの体験をきっかけに10代後半よりLGBTの子ども・若者支援等を主なテーマとして取り組む。著書に『先生と親のためのLGBTガイド もしあなたがカミングアウトされたなら』（合同出版、2016年）ほか。「やっぱ愛ダホ! idaho-net」代表、LGBTユースの居場所「にじーず」主宰。」

基調報告

寺原 真希子

東京弁護士会性の平等に関する委員会委員

講演

渡辺 大輔氏

講演

遠藤 まめた氏

パネルディスカッション

パネリスト

渡辺 大輔氏

遠藤 まめた氏

コーディネーター

谷田 和樹

東京弁護士会性の平等に関する委員会委員

質疑応答

閉会挨拶

参加無料・申込不要

どなたでも参加いただけます
奮ってご来場ください

問合せ：
東京弁護士会 人権課
03-3581-2205

丸ノ内線「霞ヶ関」駅
B-1b 出口
千代田区霞が関 1-1-3

